

8月11日



### 「あづフェス」江州音頭の大きな輪や 花火打ち上げで真夏の宴を満喫

「あづちサマーフェスティバル」(あづフェス)が安土小学校で開催され、大勢の学区民やお盆の帰省客らが真夏の宴を楽しみました。「子どもたちに夏の思い出づくり」と安土町商工会青年部と有志団体「WAKACHI」が中心となる実行委員会の主催。安土老蘇まち協バンドによる演奏や安土小児童によるダンスなどが披露されたほか、縁日屋台も大賑わいでした。夜のとばりがおきた後は江州音頭の盆踊りが盛大に開催、やぐらの周りを老若男女が幾重に取り囲み盆踊りを楽しみました。祭りの最後は花火が打ち上げられ、見物客から大きな歓声が上がっていました。

9月3日



### 新町の安田さんら白寿の12人を市長が敬老訪問

「敬老の日」を前に、小西市長が白寿(99歳)を本年度中に迎える市内の高齢者12人を訪問し長寿をお祝いしました。新町三丁目の自宅に市長の訪問を受けた安田進しんさんは、若い頃から和裁を得意とされ、今でも簡単な繕いなどをされています。お祝いの品(シャボンフラワー)と祝い金を受け取った安田さんは、にっこりとうなずき自分が縫ったつむぎ織の着物などを披露。市長はその出来栄に驚きながら、にこやかに談笑していました。

8月28日



### 夢はポリシヨイ・バレエ団のトップダンサー

近江兄弟社中3年生の川西莉乃りのさん(桜宮町)が、9月からロシアの国立モスクワ・バレエアカデミーに留学するにあたり市役所を訪れ小西市長から激励を受けました。川西さんは3歳からバレエを習い始め、今年6月岡山市内で開かれた全国規模のバレエコンクール中学生の部で見事優勝、バレエアカデミーの校長にその演技が認められ留学が実現しました。市長は「市内でバレエをしている子どもたちに大きな励みになります。貪欲にいろいろなことを吸収してください」と激励し、校長宛の親書を川西さんに託しました。川西さんは「踊りを見た人が笑顔になれるダンサーをめざし頑張りたい」と希望に胸を膨らませていました。

7月～  
9月30日

### 赤コン君、キャップアートで社会貢献!

堀上町のスーパー丸善近江八幡店にキャップアートの「赤コン君」がお目見えしました。完成予想図面(約1.7畝四方)に沿って、買い物客や子どもたちが持ち寄った6色のペットボトルのキャップを7月からはめ込み始め、8月下旬に完成しました。9月末まで店内で展示され、その後、キャップの売却益をユニセフに寄付し、ポリオワクチンを発展途上国へ送る活動に役立てられます。



Facebook  
ページは  
こちら



## 赤こんりポート

馬場利男リポーター

8月10日



### 琵琶湖博物館で子どもたちが水環境を学習

水環境問題について一人ひとりができることを考えてみよう。榊日吉の新入社員の皆さんの指導の下、市子ども会育成者連合会（市子連）主催の環境研修会が県立琵琶湖博物館で開催され51人のジュニアリーダーが参加しました。子どもたちは7班に分かれ、最初に、琵琶湖やささまざまな液体の状態を知るため、BTB溶液を使い液体の性質を調べる実験を行い、液体の色が変わるたびに歓声や拍手が上がっていました。午後からは、館内でクイズラリーに挑戦、琵琶湖の自然や歴史、生息する生き物などについて学習。子どもたちにとっては、夏休みの忘れられない意義のある勉強会になりました。

## 赤こんりポート

東恵子リポーター



### 親子プレイステーションに集まれ！

桐原コミュニティーセンターでは、15年以上前から子育て支援事業「親子プレイステーション」が毎月不定期の火曜日に開かれています。たくさんの玩具がそろった専用の部屋で、自由遊びや団子作りなど季節感のある遊びを取り入れ行っています。8月最後の開催日は、水遊びとスタッフによるエプロンシアターが演じられ、約15組の親子が歌と一緒に歌い盛り上がりました。「お母さん同士の情報交換の場になれば」と代表の川橋マリ子さん。子育ての悩みを打ち明ける人もいるそうで、必要な場合は、関係機関につなぎ連携を取られています。地域の応援団は身近にいてくれますね。



### 平和祈念式 恒久平和の実現を誓う

第10回近江八幡市平和祈念式が、市文化会館大ホールで開催され約700人が出席しました。第1部の式典では市内の全ての戦争犠牲者に哀悼の意を表するとともに世界の恒久平和を祈念し約150人が平和祈念の碑に白菊を献花しました。市立小・中学校の児童・生徒や市民らによって折られた約8700羽の折り鶴が平和を願うメッセージとともに献呈、平和への願いを込め5人の小・中学生が作文発表を行いました。第2部の記念事業では、「女声合唱ラ・フルール近江八幡」により平和への賛歌の歌声が披露されたあと、県立八幡商業高校演劇部による構成劇「キミの瞳に映す色」が演じられ、出席者は生徒の熱演に見入っていました。

## 赤こんりポート

山田恵美リポーター



### 旧市街地に 「みんなの休憩室」

「休憩ができる」「おむつ替えができる」「授乳ができる」「お湯がある」。旧市街地（仲屋町中）にある「食堂ヤポネシア」の中に「みんなの休憩室」がオープンしました。NPO法人「碧いびわ湖」がクラウドファンディングで資金を募り「みんなの思い」を集めてできた「みんなの場所」です。小さい子ども連れにうれしい畳の和室。赤ちゃんのおむつ替えをしたり、授乳をしたり、ちょっと休憩することもできます。トイレには、すのこが用意されており、たっち時期の子どものおむつ替えもしやすくなっています。一人の百歩ではなく、みんなの一步が集まり、出来た「あったかい気持ちになれる場所」です。

笑顔あふれるまちのみんなの場所になっていきますように。